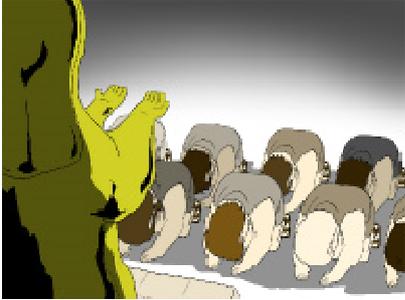
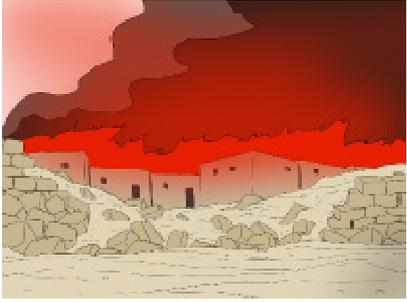


聖書	第二列王記 17:1-23、25:1-21、エレミヤ 21:1-10
タイトル	国外追放（ゼデキヤ王と預言者エレミヤ）
教案日付	2015年10月25日

項目	イラスト	お話し
I	a 	北イスラエル王国の人々は、何回王様が変わっても本当の神様を礼拝することをせず、いつも偶像を拝んでいました。
	b 	そんなイスラエルの人々を立ち返らせようと、神様は何度も何度も預言者を遣わしました。そして、悔い改めて本当の神様を礼拝するように警告したのです。けれども、人々は預言者の言葉を聞こうとせず、バアル像やアシェラ像を作っては拝み、占いやまじないなどをして、好き勝手な生活をしていました。
	c 	ついに、神様が預言者たちを通して警告していた通り、イスラエル滅亡の時がやってきました。北イスラエル王国は攻めてきたアッシリヤによって滅ぼされてしまったのです。イスラエルの人々は、アッシリヤに連れて行かれ、今まで住んでいた場所には誰も知らない他の国の人々が住むようになってしまいました。
II	a 	北イスラエル王国が滅びてから約130年たった頃、南ユダ王国にバビロンの軍隊が攻めてきました。ユダの人々は、王様によっては本当の神様に立ち返ることもありましたが、しかし、やっぱり最後には偶像を拝んでしまったのです。バビロンの王ネブカデネザルはエルサレムを包囲しました。
	b 	そこで、預言者エレミヤは言いました。「南ユダ王国の人々は、神様からの警告を聞かず偶像を拝んでいました。ですから、神様がこの国を滅ぼされるのです。」

項目	イラスト	お話し
II c		<p>王宮も神殿も、バビロンによって壊され燃やされてしまいました。神殿の中にあった立派な礼拝の道具や宝物は、全部バビロンに持っていかれたのです。</p>
III a		<p>ゼデキヤ王はこっそり逃げようとしたのですが、すぐにバビロンにつかまってしまいました。息子たちは殺され、ゼデキヤは目をえぐり取られ、奴隷としてバビロンに連れて行かれたのです。</p>
III b		
結論 (適用)		<p>神さまを無視して偶像礼拝の罪を犯し続けた結果、イスラエルの人たちは本当の神様に戻れなくなってしまいました。そして、ついに国は滅び他の国に捕らえ移されてしまいました。実は神様を無視して生きることはとても「不自由」なことなのです。あなたは神さまに罪を犯しているために、苦しかったり、不安だったり、やめられなくなったりしていることはありませんか？神様にその罪をお話して、ゆるしてもらいましょう。そうすれば、「不自由」な心から解放されて、本当の自由をいただけるのです。</p>

**使用方法**

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること